

校務改善NEWS - 第26号 -

発行日 平成31年2月27日

事務局 東京都教育庁人事部職員課

発行 校務改善推進会議

新宿区西新宿2-8-1 都庁第一庁舎北側36階

校務改善推進事業発表会 開催！！

都庁第一本庁舎5階大会議場で行われた校務改善推進事業発表会には、350人近くの方に参加していただきました。御参会くださった皆様、ありがとうございました。本号では、事例発表をさせていただいた三校の内容をお伝えするとともに、アンケート結果の一部を紹介いたします。

校務改善のホームページ（下部参照）には、発表校の全スライドや当日の資料、アンケート結果の詳細などを掲載。さらに、スクール・サポート・スタッフ活用事例集は当日配布した資料よりページを増やした最新版を載せてあります。発表会に参加された方も、されてない方も御活用いただける資料となっております。是非御覧ください。



当日の会場の様子

事例発表校 発表内容紹介♪

①青梅市立若草小学校



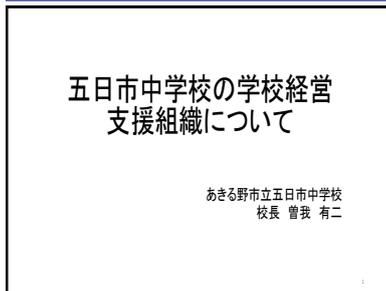
「学校マネジメント強化モデル ～副校長の業務軽減を図る～」

「人材育成」と「機能する組織作り」という二つの課題の解決に向け学校マネジメント強化モデル事業を活用。補佐をする非常勤職員（元管理職）への**業務依頼の簡易化、任せる仕事の明確化**を進め、副校長の意識を改革。時間を生み出すことで余裕を作り、学校経営方針の実現を始めとする副校長業務にクリエイティブに取り組めるようになりました。

意識改革でやいがいある業務を実施

生み出した時間で、人材育成・危機対応・企画支援を実施。副校長の業務がやいがいのある内容へ。

②あきる野市立五日市中学校



「五日市中学校の学校経営支援組織について」

学校経営支援部の役割を明確にして会議を実施。特に**事務部とのつながり**を強化し、外部契約の窓口を事務部が務めるなど教員の負担軽減を推進。また、経営計画でボトムアップによる提案を明記。職員の発案から行事を精選し進路指導にも好影響が出ました。さらに、**ミドルリーダーがOJTを実施**することにより意識が向上。若手教員の指導力アップにもつながりました。

OJTの整備と充実により、ミドルリーダーから管理職へ「どうしたらいいですか？」だったのが「こうしたらどうでしょう？」へ変化

OJTで教員の意識が向上

③品川区立第三日野小学校



「品川区立第三日野小学校の校務改善について」

スクール・サポート・スタッフを活用して校務改善を推進。スタッフへの依頼状況が2週間先まで分かるTo-Do表を作成するなど、**教員が業務を依頼しやすい環境**を整え負担軽減を進めました。また、校務分掌に各部の中の係をまとめる主任ポストを新設。主任教諭が一定の結論を出せるシステムを構築するなど、**ミドルリーダーが活躍できる組織作り**を進めました。

組織編成でミドルリーダーが活躍

全主任教諭が主任ポストに就き、相談が管理職から主任教諭へ。主任教諭の意識向上にもつながり、副校長の負担も軽減



東京都 校務改善 で検索
←左のQRコードからも入れます。

当日の配布資料を掲載しています。発表校の全スライド、
スクール・サポート・スタッフ活用事例集、必見です！

発表会参加者アンケート〔自由記述より抜粋〕

< 1 今年度のテーマ「ボトムアップで創る校務改善」における参加者の取組事例 >

- 何でも話せる関係づくりと雰囲気づくり。教員の話は最後まで聞き、受け止める。【校長】
- 全主任教諭によるミニOJT研修【校長】
- 3回の面接の中で全職員に校務改善について必ず触れている。【校長】
- 副校長会の研究テーマとして取り組んでいる。【副校長】
- 主幹教諭と課題を共有し、提案させる→提案する機会を設ける。【副校長】
- できるだけ職員（職員室での会話等）の声を管理職（主に副校長）に届けている。【主幹教諭】
- 経営支援部を月1回行っている。そこで課題や校務改善（みんなで使える学級事務フォルダの作成）について話し合っ、掃除・給食等の方法を共通にするなど【主幹教諭】
- 調査物を精査して事務へ移管。教材費等の私費会計を教員から事務へ移管【学校事務】
- 副校長連絡会を活用した現状と課題の把握と施策の提案【教育委員会】

< 2 校務改善の取組における課題 >

- 膨大かつ多岐にわたる校務の洗い出しと整理。「ちょっとは改善」を大切にする意識改革【校長】
- 主任教諭、ミドルリーダーの育成をする時間の確保【副校長】
- 若手が多い職場なので、つい長時間仕事をする様子が見られる。スクール・サポート・スタッフの活用、タイムマネジメント等、働き方に対して意識を変えていく必要がある。【主幹教諭】

< 3 今後取り上げてほしいテーマ等 >

- 具体的なミドルリーダーの活躍例の紹介【校長】
- 管理職のリーダーシップとの兼ね合いの発表をお願いしたいです。【副校長】
- 各職ごとでの校務改善事例があれば、取り上げてほしい。【学校事務】

< 4 青梅市立若草小学校の発表に関連して >

- 学校経営補佐を導入することにより、本来の副校長の職務を行う（調査的な職務より解放されて、クリエイティブな学校経営計画への実現に向けての取組を行う）ことができるようになる。副校長の意識改革と、学校経営補佐の導入、統括校長の手腕がすばらしい。【副校長】
- とても参考になりました。とりあえずフォルダ、事務方でも使えそうです。【教育委員会】
- どの報告も参考になったが、特に学校マネジメント強化モデル事業の報告は特に有意義なものであった。現場、特に副校長の業務負担軽減を今後も検討しなければいけない。【教育委員会】

< 5 あきる野市立五日市中学校の発表に関連して >

- 五日市中のスクール・サポート・スタッフ、小中の違いはあれども、スクール・サポート・スタッフがいた方がより改善されると感じた。ミドルリーダーの育成は本校でも課題である。【校長】
- 保護者へ定時退勤日を知らせるのも一つの手だと思いました。【副校長】
- 都事務の在り方が校務改善の大きなカギになると改めて思いました。【副校長】
- 校務改善の基盤は「情（おもいやり等の心）」だと考えている中、五日市中学校の取組「新採の方の家族への手紙」は、私も真似したいと思いました。本日はありがとうございました。【主幹教諭】

< 6 品川区立第三日野小学校の発表に関連して >

- 黙々タイム等は、私自身感じていたことですが、なるほどと思いました。主任レベルでも、一定の決定権をもたせよということで、自ら主体的に行動しようとする姿が見られてきたということはすばらしいと思います。全てのことにおいて、“見える化”を実践していることが分かり、本校でも生かしていきたいと思います。【副校長】
- 具体的な取組を伺うことができ良かった。「どうしましょう？→こうしましょう。」全員がこの認識で取り組めば、ボトムアップができると思う。【主幹教諭】

< 7 校務改善推進事業発表会の感想 >

- ボトムアップのためには、経験や能力の差はあっても参画意識を高めること、自信や達成感を味わわせることが重要だと考えている。各校の校務改善の取組が参考となった。【校長】
- 様々な学校の状況に合った校務改善を行っていると思った。特にスクール・サポート・スタッフの活用についてのパンフレットは興味深い内容だった。【副校長】
- 3校の校務改善の具体策を分かりやすく発表してくださり大変参考になりました。本校も少しずつ取組を始めようとしているところなので、真似できることや可能などところからボトムアップとして取り組めたらと思います。【主幹教諭】
- 事務職員の役割に関する内容も多く参考になりました。【学校事務】



←参加者の内訳や取組状況など、より詳細なアンケート結果は「校務改善推進事業発表会（過去の事業発表会資料）」の「平成30年度」に掲載してあります。是非御覧ください。